

たんぽぽだより



『地域社会の一員として』

施設長 浅見 僚子

今年の夏は例年にない猛暑が続いています。施設外就労の公園清掃やアパート清掃では、具合の悪くなる方が出るのではないかと、はらはらしています。暑さ対策のため、支援者は十分な水分の補給といつも以上の休憩の確保を心掛けています。しかし、利用者の皆様は、どんなに暑くても愚痴や泣き言を言わず、黙々と仕事に前向きに取り組んでいらっしゃいます。頭が下がる思いです。

先日の公園清掃の時に、公園の近くにお住まいの方から大きなスイカを丸ごと1個差し入れていただきました。いつも公園をきれいにしてくれていること、公園だけでなく近隣の道路まで掃除をしていることなどを、日頃から見下さっているそうです。たんぽぽに持ち帰って、みんなでありがたくいただきました。次の清掃の時に、清掃担当の利用者・支援者共々お礼状を届けました。挨拶のあと利用者さんのお一人が「私達が頑張っているところを、誰かが見てくれるんですね。」と話していたそうです。

地域のために役立っている公園清掃、社会とつながっている仕事の大切さを感じることができた嬉しいできごとでした。



8月2日は「施設公開」を実施しました。今年度は、近隣の方々にたんぽぽを知っていただく、という目的で、近くの小学校や自治会の皆様を中心にチラシを配布させていただきました。当日は、最高気温37.5度という猛暑。そのため来所者はほとんどありませんでした。作業の体験コーナー、2階のかき氷の準備等、あまり活躍の場がなく残念でしたが、施設公開は昨年からはじめたばかりです。地域への発信は地道

な取り組みの積み重ねだと考えています。次回にこの反省を生かしていこうと思います。

施設公開の準備段階では、新たな取り組みを実現させることができました。チラシの依頼に伺った際に、地域にできることを模索中だということをお学校の校長先生にお伝えしたら、「学校周りの植え込みや道路のゴミ拾いはどうでしょう。」とアドバイスをいただきました。

さっそく7月下旬から始めています。ボランティアたんぽぽお掃除隊です。地域での活動ですから、ルールを守って、迷惑になることは避けなければなりません。『通行する方の邪魔にならない。大きな声を出さない。人の家や学校に入らない。時間を守る。』などの約束事を確認して取り組んでいます。

先日、利用者さんが道路のゴミを熱心に拾っていたら、そばで工事に関わっていた若者が、あわててやって来て、「すみません。このゴミは自分達のですから、俺たちが拾います。」と言って、昼食のゴミやたばこの吸い殻を捨ててくれたそうです。



障害者の自立と社会参加が目指すものは、「障害者一人ひとりが、十分な支援を受けながら、その個性を尊重され、地域で暮らし、地域社会に参加し、役割を果たすこと」です。

これからも、障害の理解のための積極的な情報発信を続けるとともに、利用者さんが仕事や活動にやりがいをもって取り組むことができるよう、きめこまやかな支援の提供を心がけて参ります。



9月の活動予定

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------------|------------|----|----|----|----|-----------------|
| | | | | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 開所日 親睦会 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 敬老の日 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 秋分の日 | 24 振替休日 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | | | | | | |

※ 年間予定表にありました 9月3日の防災訓練は、練馬消防署の都合により10月1日に変更となりました。

興味からの学び

たんぽぽでは、月に一度、講師を招いて、職員研修を行っています。さらに、月に1～2人のペースで外部研修へ参加しています。

研修担当は、職員一人一人に年度当初アンケートを取り、興味のある分野や、スキルアップしたいことを聞き研修を進めています。制度に関わるものから、支援の基本的な研修まで様々な内容がありますが、まずは「自分の興味がある分野は何か、今、必要なスキルは何か」を考え、それに基づいた研修に参加し、日々の支援に役立てることこそが、一番の学びだと考えています。

研修・研究課 新海未姫

開所日って何をやっているの？



7月7日の開所日は、就Bと生活介護、合同でおやつ作りを行いました。



今回の開所日には、ボッチャというパラリンピックにも採用されているスポーツを体験しました。ボッチャとは先攻(青)と後攻(赤)に分かれ、最初に投げた白球(的)により近づけた方が勝ちとなるスポーツです。ボールに慣れるための投球練習を経て前半はゲーム形式、後半はかご入れゲームの形で進行了ました。最初の方は見た目以上に重いボール(ソフトボールくらいの重さ)と力加減の難しさに苦労しながらも少しずつボールに慣れ、思った場所にボールを投げられると利用者にも自然と笑顔が見られました。利用者の皆様も支援者も初めて体験するスポーツでボランティアの方々とも触れ合える機会もあり、貴重な体験になったのではないかと思います。



的に向かってGO!

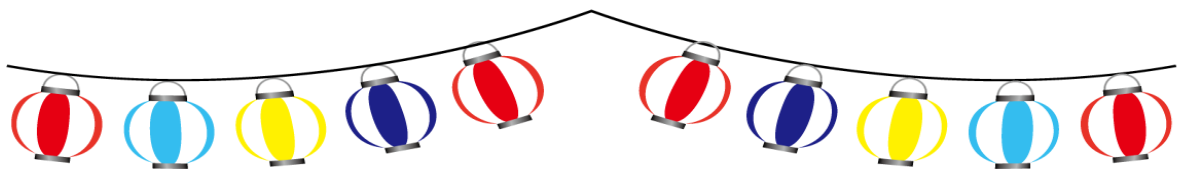


～ 販売会の様子 ～



現在、月1回のペースで区役所の「ねりいち」やその他の販売会に参加しております。参加された利用者の方は、始めは小さな声で「いらっしゃいませ」と言っていたのですが、慣れてくると笑顔でお客様と会話をされる姿も見られました。直接お客様と関わる事で、その方自身もとても嬉しそうにされていました。

また、自主生産品は工賃の為だけではなく、たんぽぽの宣伝ができる方法の一つでもあると考えております。商品を手にとったお客様が「この商品いい！⇒この事業所は面白そうだな」と興味を持って下さるように、日々良い商品が作れるように職員のみならず利用者の方にもアイデアをいただきながら制作しております。



たんぽぽまつりボランティア募集中

地域の皆様と広く触れ合える機会を持てるよう、たんぽぽまつりを開催い

たします。一緒に楽しんでいただける方を募集します！

【日時】 11月3日（土）9:00～15:30

【場所】 たんぽぽ

【内容】 たんぽぽまつりでの、販売・ゲームコーナー・ご利用者の観覧などのお手伝いをお願いします。

【条件】 ・昼食あり・交通費をお支払いいたします。
※ただし条件あり

※ご協力くださる方は9月28日（金）までに、担当の中川までご連絡ください。